

変容する日本の 福祉法制と行政の役割

豊島 明子

私は、福祉行政のあるべき姿について、独自の制度や法理論の比較を行いながら、研究しています。日本の福祉は「90年代以降、転換期に入りました。これを端的に示すのが、ドイツを範として導入された介護保険です。右下の写真は、以前、介護保険導入後のドイツを調査するために訪れた、エアランゲン市内にある民間福祉施設の1つです。

介護保険は日本初の社会保険による介護保障制度で、従来の制度にはない2つの特徴を持っています。それは、福祉の「契約化」と「市場化」です。「契約化」は、サービスを必要とする高齢者自身が事業者と契約を結んでサービスを利用する仕組みへの転換です。従来は、高齢者が市町村に申し込むと、市町村の責任で必要なサービスが決定、支給されました。それゆえ「契約化」は、サービス供給過程に行政が介在しない仕組みへの転換を意味します。「市場化」は、規制緩和により株式会社等の営利法人の参入を認め、介護サービス市場の創出と拡大を図る政策です。従来は、市町村等の直営が、社会福祉法人という非営利法人によるサービスが一般的でした。しかし今では企業参入が進み、サービスの供給主体が多様化しています。この結果、行政の

とよしまあきこ
総合政策学部総合政策学科 准教授

専攻分野「行政学」
最近の研究テーマは「社会保険における行政の役割」
短期研究テーマは「日本とドイツの社会福祉法制」
主な担当科目は「行政学」
主な著書は「行政不備補填の改革—福祉のための制度の取組み」(日本評論社、2008年、共著)、「社会保険のあり方—行政学からの視点」(放送大学教育振興会、2008年、共著)。

サービス供給主体としての役割は、どんどん小さくなっていきます。

「契約化」と「市場化」は、サービス利用者・事業者・行政の三者間の関係を変化させました。一見すると、行政の役割の縮小に伴い、民間事業者の役割や、個人の自己決定と責任に委ねる部分が広がったように見えます。しかし実際はもっと複雑です。行政が自らサービス供給に携わる役割は確かに小さくなりましたが、多様な事業者が参入するにつれ、これららの事業者を監督する行政の役割は、むしろ大きくなりつつあるからです。そうすると、福祉行政は、かなり複雑な伸縮を遂げていると言えるそうです。

残念ながら今の日本は、人生の最期を安心して迎えられる国とは言えません。そのため、近年の福祉政策の有効性がそもそも問われるなければならない。質と量が共に充実した福祉の実現のためには、行政がどのような位置を占め、役割を果たすべきか、変化する行政の在り様を眺めつつ、その答えを探し続ける必要があります。



私たちの社会における 刑事裁判のあり方は

岡田 悦典

私は、授業で「刑事訴訟法」という法律を教えています。何かすごく堅苦しい、あるいは難しい内容なのは、と思う人も多いかもしれませんが、刑事訴訟法は、具体的には刑事裁判の仕組みについて定めている法律で、そのための捜査段階の手續と刑事裁判に不満を持った被告人が不服を申し立てる手續を扱う法律です。法学部生は多方面の企業に就職し、また進学していきます。法律に関する様々な素養は、社会に出て、いろいろな部分でとても重要になりますので、私も刑事訴訟法という科目を通して、その教育全体の中で少しでも役に立つことができれば、と思いながら講義しています。

日本で裁判員制度がスタートしました。刑事裁判のあり方については、これまで以上に多くの人々から関心が寄せられています。私が刑事訴訟法に興味を持ったのは、学生時代にテレビで話題になっている事件の刑事裁判を傍聴



おかだよしのり
法学部法律学科 准教授

専攻分野「刑事訴訟法」
最近の研究テーマは「刑事訴訟法と手続上の交通」
短期研究テーマは「刑事裁判における被告人の権利」
短期研究テーマは「刑事裁判における手続上の交通」
短期研究テーマは「刑事訴訟法と手続上の交通」
短期研究テーマは「刑事訴訟法と手続上の交通」
短期研究テーマは「刑事訴訟法と手続上の交通」

したことや、模擬裁判を実演したことがきっかけでした。なぜ、裁判がこのような仕組みになっているのかと素朴な疑問を抱き、裁判で法律が適用されたら事実が認定されたりするメカニズムや、権利が保障される意義、そして社会における裁判の役割などを考えるようになりました。人間は文明をもち社会を構築してきましたが、そこには何らかの「裁きをする場」がありますので、私も刑事訴訟法という科目を通して、その教育全体の中で少しでも役に立つことができれば、と思いながら講義しています。

授業では、以上のようなことを踏まえつつ、刑事訴訟法やそれに関係する法律(裁判員法など)について講義しています。実際に話すだけではなかなか理解が得られないところもあると思います。学生に簡易の模擬裁判を実演してもらったりして解説しています。刑事訴訟法を通じて、広く法や社会のあり方を考える素材を提供できればと考えています。

私の クラス

国際交流

覚王山プロジェクトワーク

11月5日、外国人留学生別科生による覚王山プロジェクトワークが行われた。この企画は、外国人留学生別科生が3名ずつのグループとなり、名古屋市千種区にある日泰寺周辺の商店においてインタビューを行うもので、日本語と日本文化を学びに来ている留学生にとっては、実生活において日本語を使用する貴重な機会になっている。敬語を駆使して会話する留学生と覚王山の商店の皆様との交流は5年以上になり、地域における国際交流という面でも定着しつつある。



南山大学交流会館2010年4月入居者募集

南山大学では毎年約300名の外国人留学生を迎えている。その海外からの留学生と日本人学生が日常的に交流を深めながら共同生活を行っているのが交流会館だ。交流会館は施設

できる個室とコミュニティールームなどの共用スペースで構成されており、各種イベントが開催されるなど日常的に国際交流を楽しむことができる。

名古屋キャンパス	瀬戸キャンパス
入居期間 2010年4月～2011年3月(1年間) ※延長可能。在籍期間中、最長2年間。	入居期間 2010年4月～2012年3月(2年間) ※別に2年間居住した学生が入居延長を希望する場合は、2年間の入居期間延長申請を認める。ただし、新規入居時と同様に面接選考を行う。
入居建物 名古屋交流会館、山里交流会館	入居建物 瀬戸第一交流会館、瀬戸第二交流会館
室料 月額30,000円(光熱費、水道代を含む)	室料 月額25,000円(光熱費、水道代を含む)
応募締切 2010年1月22日(金)17:00まで	応募締切 2010年1月8日(金)17:30まで
説明会 日時/2010年1月13日(水)13:30～(1時間程度) 場所/名古屋交流会館 1階コミュニケーションルーム 内容/交流会館入居者からの説明、交流会館内の見学を予定している。 (自由参加、予約不要)	施設見学 平日9:30～17:30(要相談) 問い合わせ先 瀬戸キャンパス 第2課 国際交流担当 Phone.0561-89-2020 FAX.0561-89-2021 (平日9:30～17:30)
問い合わせ先 名古屋キャンパス 国際教育センター Phone.052-832-3123 FAX.052-832-5490 (平日9:00～17:00)	

南山のDNA DNA DNA DNA

やりたいことが見つかった瞬間

栗田典子(旧姓:田島) 数理工学部情報通信学科(現情報理工学部) 2006年卒業

南山中学から高校、大学と10年間南山生として過ごす。現在はシステムエンジニアとして勤務。昨年結婚し、家事と仕事の両立を図つつ公私とも私に充実した日々を送る。

各方面で活躍する本学卒業生をリレー形式で紹介していくプレティン版「南山のDNA」シリーズ、第7回となる今回は、システムエンジニアとして活躍の栗田典子さんです。

私は現在システムエンジニアとして働いています。システムエンジニアという職種を聞いて、カッコいいと思う方もいれば、3Kと感じる方もいるのではないのでしょうか。私も自身も以前は「システムエンジニア=3K」と感じていました。それなのになぜこの道を選択したかという、同じシステムエンジニアでも会社によって様々な業務内容があることを知ったからです。

大学に入ってプログラミングを学び、その中でゲームセンターにあるような「じゃんけんゲーム」を作ったことが印象的で、プログラミングって面白いと思うようになりました。しかし学年が進み、学ぶ言語が増えにくくと面白くも難しくなっていくと感じるようになってしまいました。就職活動中もプログラミングは面白いと感じる一方で、システムエンジニアとしてやっていけるのかと不安に思い進路を悩みました。そんな中、大学で開催された就職説明会で先輩の生の声を聞く機会がありました。そのとき、その先輩からシステムエンジニアには様々な業務内容や勤務体系があることを教えていただき、それまで悩んでいた私

の気持ちはすっきりと晴れました。それ以降「勤務地は自社。打ち合わせや設計を主にを行い、たまにプログラミングを行うシステムエンジニアになりたい。」と思うようになり、見事にイメージどおりの会社に就職することができました。

私は今、収入を管理するシステムの保全を行っています。収入は少しの間違えも許されない大変重要なものです。お客様と打ち合わせをしたり、プログラミングをしたりと自分のなりたかったシステムエンジニアとして働くことができていると思います。簿記の知識が全くない私には毎日勉強ですが、お客様の言っていることがわかったときにはとても喜びを感じます。そして何よりも毎日楽しく仕事をしています。

就職活動をするときに、どの職種に就こうか、どの会社にしようかと悩むことがあるかもしれませんが、まずは興味を持った職種の先輩に話を聞くということが大切だと思います。会社説明会で情報を取得することももちろん、さらに先輩の生の声を聞けば自分自身で納得ができると思います。自分のやりたい仕事を見つけてみてください。



Information

◆2010年度学生納入金改定について—授業料・施設設備費とも据え置きを決定—

2010年度南山大学学生納入金について、2009年9月25日開催の南山学園理事会は、「入学に際しての宣誓」に示された授業料スライド制をもとに検討した結果、授業料・施設設備費ともに改定率を0%とし、授業料を据え置くことを決定しました。授業料改定率は、人事院勧告による国家公務員給与改定率と本学が独自に設定する教育・研究条件改善率を合算して算出しております。2010年度の場合、2009年度国家公務員給与改定率が2.4%となっており、教育・研究条件改善率が2.4%としたため、授業料改定率は0%となりました。施設設備費についても、現状で大学の施設設備取得費および維持経費増には対応可能と判断し、据え置きを決定いたしました。

◎名古屋キャンパス学部学生

授業料を現行の718,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。なお、2010年度より、英米留学生1年次生は新規LL設備導入に伴い、実習費として18,000円を徴収することとする。

◎名古屋キャンパス大学院学生

ビジネス研究科ビジネス専攻および法務研究科を除く研究科については、授業料を現行の574,000円に据

◆「MDDロボットチャレンジ2009」 モデリング奨励賞受賞

10月21日から23日にかけて国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた「MDDロボットチャレンジ(飛行船ロボットコンテスト)」において、本学数理工学部生らのチームがモデリング奨励賞を受賞した。

MDDロボットチャレンジは、模型飛行船を自動航法飛行させるソフトウェアの制作技術を競うもので、本学学生が受賞したモデリング奨励賞は、ソフトウェアモデルの審査において最新技術への意欲的な取り組みが評価されたものである。



◆平成21年度「大学教育・学生支援推進事業(テーマA)大学教育推進プログラム(文部科学省)に採択

外国語学部英米学科で申請していた「多文化社会における英語による発信力育成—グローバル時代に活躍するための多目的学生力向上プログラム—」が、平成21年度大学教育・学生支援推進事業(テーマA)大学教育推進プログラム(文部科学省)に選定された。

寄付者ご芳名

「南山大学教育・研究支援」へのご協力に感謝いたします。株式会社名古屋銀行 様 東海旅客鉄道株式会社 様 南山大学ワンダーフォーゲル部OB会 様(樹木) 佐藤 憲成 様 鶴岡 純子 様 大平新太郎様 榎山 愛博 様 Susan Fischer 様(書籍) 他1名様

南山大学

発行 学長室
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail:gaku-koho@nanzan.ac.jp
http://www.nanzan-u.ac.jp/

2009.12.20

南山大学広報誌

NANZAN bulletin vol.171 2009.12.20

え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。ビジネス研究科ビジネス専攻については、授業料を現行の700,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の100,000円に据え置く。法務研究科については、授業料を現行の1,000,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の200,000円に据え置く。

◎瀬戸キャンパス学部学生

名古屋キャンパス学部学生の授業料に、総合政策学部は100,000円、数理工学部ならびに情報理工学部は200,000円をそれぞれ加算して算出する。授業料を総合政策学部は現行の818,000円に、数理工学部ならびに情報理工学部は現行の918,000円にそれぞれ据え置く。施設設備費は名古屋キャンパス学部学生と同額とし、両学部とも現行の210,000円に据え置く。

◎瀬戸キャンパス大学院学生

授業料を総合政策研究科は現行の624,000円(社会人学生は654,000円)に、数理工研究科は現行の674,000円(社会人学生は734,000円)にそれぞれ据え置く。施設設備費は名古屋キャンパスのビジネス研究科ビジネス専攻および法務研究科を除く研究科と同額とし、両研究科とも現行の105,000円に据え置く。

◆人類学博物館所蔵品 名古屋市指定有形文化財に指定

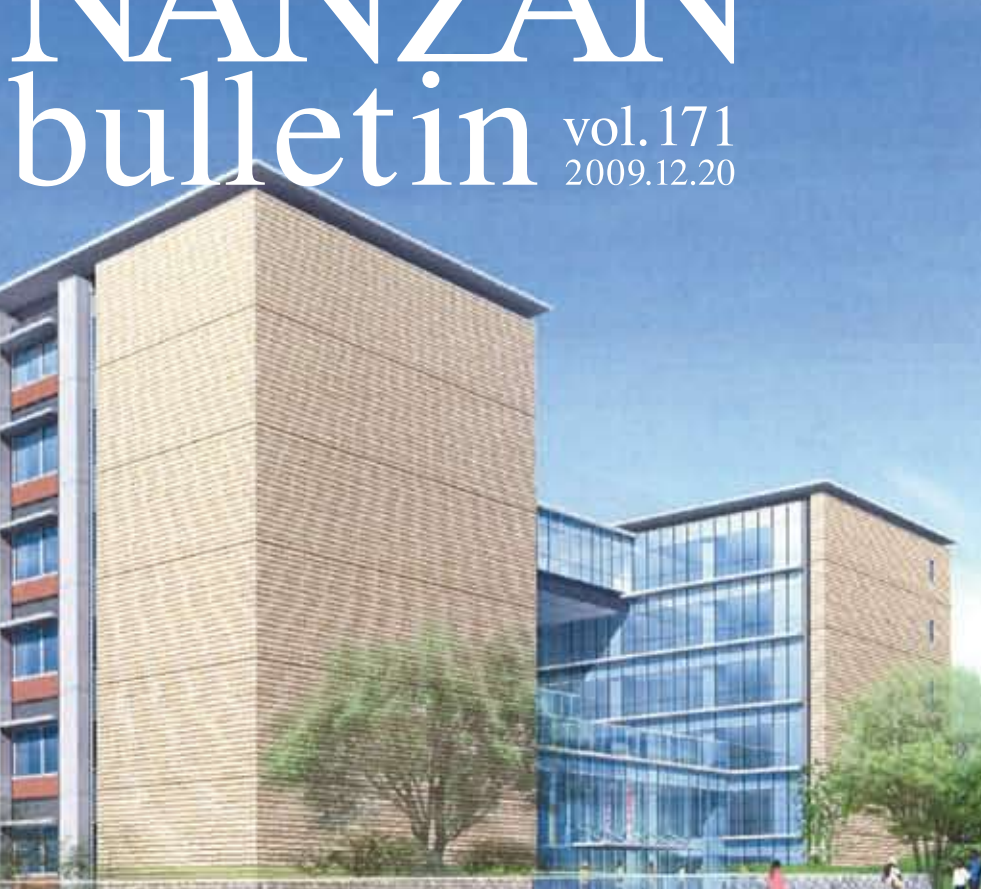
9月2日、人類学博物館に所蔵されている大須二子山古墳の出土品29件120点が名古屋市指定有形文化財に指定された。

大須二子山古墳は名古屋市中区門前町に所在していた古墳で、戦後すぐの道路建設工事等により古墳そのものは滅失してしまった。しかしその出土品は郷土史家等によって蒐集され、その多くが南山大学人類学博物館の前身の組織である南山大学人類学民族学研究所に所蔵されることになった。



大須二子山古墳出土青銅鏡 (画文帯神獸鏡)

大須二子山古墳出土馬具 (Y字形鏡板付書)



〈表紙:新棟完成イメージ図〉

NANZAN UNIVERSITY

Campus Topics

南山の輪をもっと大きく!

小林 由香莉(総合政策学部総合政策学科4年)

入試広報スタッフになるきっかけは、「一緒にやらない?」という友人の何気ない一言でした。部活だけではなく、何かもっといろいろな人たちと関わりたいと思って、いた3年の春...私は迷わず決意しました。

学生入試広報スタッフ(通称:学スタ)は、大学見学者に対し学生生活紹介やキャンパスツアーを行います。また、学外で行われる進学相談会に向き受験生の相談のったり、REAL@NANZANという入試広報誌や、「n-cast+(エヌキャスト+)」という学生ブログを作成するのも仕事です。

「やりたい!」と飛び込んだものの、最初は緊張と落胆の連続でした。初めて学生生活紹介を任せられたときのことを今でも忘れることができませぬ。自作のパワーポイントをスクリーンに映し、それを見ながら紹介をしたのですが、自分が話すことに精一杯で思い通りに伝えることができず空回り。ガックリと肩を落としていると、学スタの先輩の学生生活紹介がスタート!先輩の生き生きした笑顔としゃべりに魅了され、いつの間にかその教室が一つになっていました。そんな先輩たちや他のメンバーに刺激を受け、私も自分に誇りを持ち南山の良さを人に伝えていきたいと思うようになったんです。

今ではこの仕事を楽しんで仕方ありません。「ここで笑いを取ろう」と思ったところで参加者の反応が返ってくる、やはりとてもうれしいです。



私は今年で引退ですが、これから南山を引っ張っていく後輩たちに、この学スタや南山の良さを伝えていきたいと思っています。学スタになって得たことはたくさんあります。人前で堂々と話せるようになったこと、積極的に動けるようになったこと、南山がもっと好きになったこと...挙げればきりがありませんが、中でも最も自分にとって大きかったのは、様々な分野で活動している人との出会いです。大学職員の方や、学部の違う学スタ、南山の卒業生、大学の教授、留学生など...いろいろな人から自身の体験談や話を聞くことで様々な世界や可能性を知り、一つの枠に囚われず考えることができるようになりました。

この仕事をしていて感じたことは、人との出会いが自分の人生を変えるとということ。大学入学当初、「総合政策ならやっぱり研究科」と思っていた私でしたが、今は「小学校の教員になって教育から貧困を無くしていきたい!」という夢があります。自分の進路で悩んでいる方、大学は思ったより自由なところ。積極的に活動するしかないが自分次第。でも、新しいことに挑戦するだけ、自分と社会が繋がっていきます。私はこれからも出会いの輪をどんどん広げていきたいです。



International Friendship

ASEACCU学生会議

永田 裕太郎(法学部法律学科4年) 竹中 美咲(外国語学部英米学科1年)

8月27日から30日までオーストラリアのシドニーでASEACCU国際会議が開催された。ASEACCUとはカトリック系大学の連盟で、アジアを中心とした7つの国と地域から教員や学生が集まり、今年のテーマについて話し合った。

今年のテーマは「Building A CULTURE OF LIFE Catholic Higher Education and the Challenges of Bioethics」。近年、生命倫理の問題が目立っており、妊娠中絶や安楽死など、「死の文化」の時代に直面している。南山大学は「人間の尊厳のために(Hominis Dignitati)」を教育モットーに掲げ、個人の命の大切さを唱えているが、今回の国際会議では、教育を通して命の大切さ、「生の文化」を構築することを目指し多くのことが話し合われた。

会議は実質1日半という短い日程の中で、多くの教授がテーマに関する発表をし、それについてグループを構成して話し合うという形で進められた。参加学生の中には高度なテーマにも関わらず意見を上手に論理立て、母語ではない英語を駆使して他の参加者に伝える者もあり、その姿には驚かされた。意識の高い他国の学生たちを見て、これから国際社会で活躍するためには彼らのように



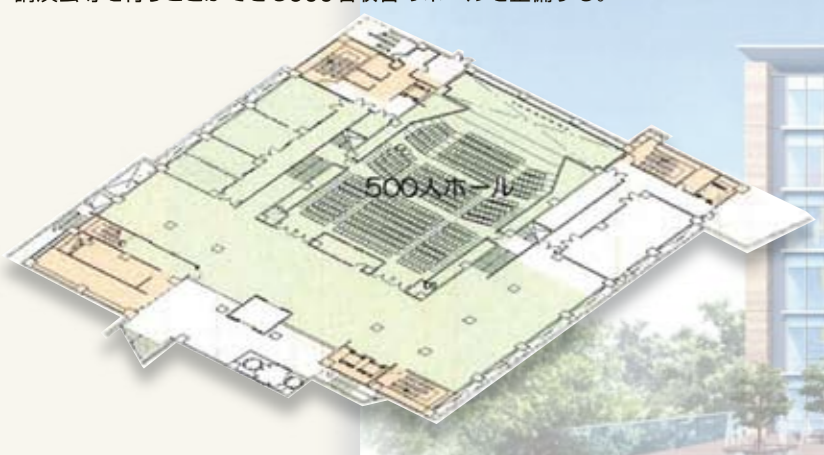
南山大学では、本学が加盟するASEACCU (Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities / 東南アジア・東アジアカトリック系大学連盟)主催の国際会議に本学の学生を派遣している。2010年度は2010年8月26日から28日までタイでの開催が予定されており、6月頃より学生参加者の募集を行う予定にしている。参加したいという学生は、南山大学学長室(E-mail: gaku-koho@nanzan.ac.jp)までお問い合わせいただきたい。なお、参加者の往復航空券(保険を含む)、会議期間中の宿泊代、食事代は南山大学が負担する。

名古屋キャンパス新棟建設 南山大学短期大学部(仮称)の設置

学内系列校である南山短期大学との連携をさらに推進し将来構想を実現するために、2011年4月1日より南山短期大学の南山大学短期大学部(仮称)への名称変更を予定している。また、これに併せて、南山大学名古屋キャンパス内に大学・短期大学部共用の新棟(地上7階、地下1階)を建設し、南山短期大学のキャンパス移転を計画している。その概要を紹介しよう。

1F 500名収容ホール

講演会等を行うことができる500名収容のホールを整備する。



短期大学部(仮称)の設置

2011年4月1日、南山短期大学はその名称を南山大学短期大学部に變更し、キャンパスも南山大学名古屋キャンパス内に移転する。名称變更とキャンパス移転により、南山大学と短期大学の連携は一層密接なものとなる。

南山短期大学は現在、英語科の1学科であり、英語を使ったコミュニケーション能力の向上に主眼をおいた実践的英語教育によって社会から高い評価を受けている。一方南山大学の外国語学部は、語学を通して、歴史、文学、政治、経済、外交といった地域研究を行うことを目的とするなど、大学、短期大学がそれぞれに独自性を持った教育・研究活動を行っている。これらの知の資産を有機的に連携させることにより、相互啓発による高い教育効果を生み出すことが期待できる。

名古屋キャンパス新棟建設

南山短期大学のキャンパス移転計画に伴い、南山大学名古屋キャンパス内に大学・短期大学部共用の新棟を建設することになった。名古屋キャンパス正門に入って左手に位置していた大学会館を解体し、その跡地に地上7階地下1階の新棟を建設する。外装はキャンパス内の土地の色を表現したアースカラーが採用される予定で、45年前、アントニン・レーモンドが手掛けて以来守られてきた名古屋キャンパスの伝統との調和が図られる。新棟には、大学と短期大学部が共用する教室や短期大学部教員研究室に加えて、名古屋キャンパス内に分散している英語教育センター、ワールドプラザ、国際教育センターといった施設が集約され、語学教育・国際交流の拠点が作られる。また、500名収容のホールや現在、名古屋キャンパスG棟に位置している人類学博物館の移転も計画している。

※大学会館の解体に伴い、2階に位置していたキャリア支援室はD棟2階に移転した。

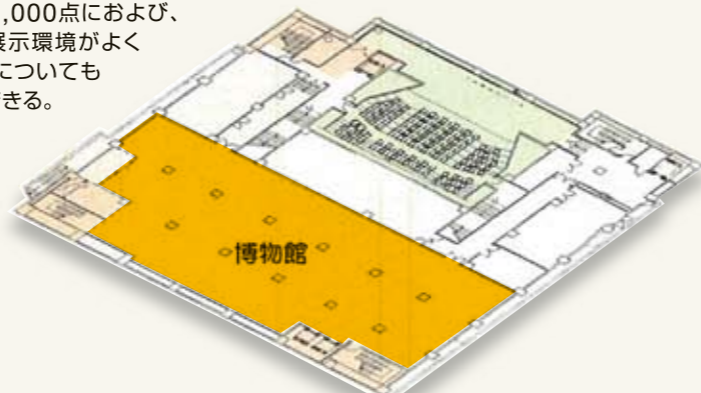
2F 国際交流フロア

現在、D棟に位置している英語教育センター、ワールドプラザ、第2研究室棟に位置している国際教育センターを集約する。吹き抜けの見通しのよいスペースに大学生、短期大学部生、外国人留学生が集う国際交流の場が構築される。



B1F 人類学博物館

現在、G棟地下2階にある人類学博物館をリニューアルし、2013年度に移転、公開することを予定している。人類学博物館は、1949年に南山大学人類学民族学研究所の附属陳列室として設立され、1979年に人類学博物館へ名称変更、1983年に現在のG棟地下2階に移設された。常時展示されている資料は約5,000点におよび、新棟に移転することで展示環境がよくなるほか、未展示の資料についても保存環境の向上が期待できる。



Special events

9.16 2009年度総合政策学部秋学期入学式

9月16日、瀬戸キャンパスにおいて総合政策学部秋学期入学式が挙行された。総合政策学部には多くの外国人留学生が在籍しているが、今年度は中国、台湾、ベトナム、ミャンマー、メキシコから15名の新生を迎えた。



9.30・10.28・11.18・12.2・12.9 国際社会で活躍する人材養成特別プログラム 2009年度秋学期講座

外務省や国連機関など、国際舞台で働くことを考えている学生を対象とした講座「国際社会で活躍する人材養成特別プログラム」が秋学期も開講されている。9月30日には、外務省人事担当者を招いた2010年度外務省人事採用に関する説明会が行われ、外交官として必要な資質や外務省の受験準備対策などについて説明を受けた。本学では、国際性のさらなる強化を目指し、今後このような国際化推進プログラムを実施する予定だ。

10.31-11.3 2009年度第9回聖南祭

10月31日から11月3日にかけて南山大学の大学祭が開催された。今年は名古屋キャンパス(NANZAN FESTIVAL 2009)、瀬戸キャンパス(第9回聖南祭)の大学祭が10月31日、11月1日の2日間同日開催され、キャンパス間のシャトルバスが運行されるなど、一体感のある大学祭となった。



11.14-15 第42回英南戦

11月14日・15日、南山大学において第42回英南戦(聖トマス大学-南山大学対抗運動競技大会)が開催された。今年度は男子卓球および男子バスケットボールの2試合が行われ、いずれも南山大学の勝利で終わった。今回で42回を数える伝統の一戦も今年度で最後となる。



9.26 第37回「父母の集い」

9月26日、名古屋・瀬戸両キャンパスにおいて第37回「父母の集い」が開催された。ミカエル・カルマノ学長、戸田吉紀後援会理事長(名古屋キャンパス)、平川文洋後援会副理事長(瀬戸キャンパス)の挨拶に続き、本学担当者より学生生活、海外留学、就職状況などについて説明が行われた。また名古屋キャンパスでは、全体会に続いて南山大学法務研究科長丸山雅夫教授による「少年非行は誰の責任か―少年法研究者の一視点」と題した講演会が行われた。



10.10 野外宗教劇「受難」

10月10日、名古屋キャンパスのバックスクエアを舞台に野外宗教劇「受難」が上演された。野外宗教劇「受難」は今年で43回目を迎える本学の伝統行事で、大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」部員である学生たちによって演じられている。特に今年は、4月に劇団四季の劇団員による演劇セミナーが本学で開催され、野外宗教劇部員との交流が持たれた。そこで伝授された発声方法なども公演に活かされたことだろう。



11.22 インドネシア語スピーチコンテスト

11月22日、名古屋キャンパスにおいてインドネシア語スピーチコンテストが開催された。昨年に続く第2回となる今回は、本学学生をはじめ日本全国から参加者が集まり、日頃の勉強の成果が発表された。スピーチコンテストの後は、バリ舞踊やアチエ舞踊といったインドネシアの伝統舞踊が披露され、会場に集まった約80名の来場者は、南山大学で感じるインドネシアの空気を楽しんでいた。



9.15・10.20・11.17・12.15 リーガルクリニック(無料法律相談)

9月15日、10月20日、11月17日、12月15日と南山大学法曹実務教育研究センターのリーガルクリニック(無料法律相談)が行われた。リーガルクリニックは法務研究科の実務教育の一環として行われているもので、大学院生が実際の法律相談を経験する貴重な機会となっている。本学のリーガルクリニックは医療事故相談、子どもの人権相談を対象としており、1月と8月を除く毎月第3火曜日に行われている。ぜひ地域の皆様にも利用いただきたい。



10.12 1日体験入学会

天候に恵まれ秋晴れとなった10月12日、「1日体験入学会」が名古屋・瀬戸両キャンパスにおいて開催された。新型インフルエンザの流行の影響もあり、参加者は名古屋キャンパス392名、瀬戸キャンパス99名と昨年度に比べて減少したが、「大学生と一緒に授業を受けて楽しかった」「普段の南山大学の様子がよくわかった」「1日だけ大学生になった気分が良かった」など、参加者の反応は好評であった。



保護者のためのオープンキャンパス

2010年3月13日、名古屋キャンパスにおいて、高校生の保護者を対象とした「保護者のためのオープンキャンパス」が開催される。南山大学の概要説明や保護者向け模擬授業、個別相談やキャンパスツアーなどが実施される。大学を取り巻く環境が急激に変化しつつある昨今、本学の教育への取り組みを保護者に理解してもらい、進路決定の一助としたいだければと思う。詳細は2月中旬に本学Webページにおいて告知の予定。



キャリア支援室

キャリア支援室では、学生が今後のキャリアを考えるためのさまざまなプログラムを実施している。

自分発見! 講演会 in Seto

10月14日、瀬戸キャンパスに「リング」「らせん」などでお馴染みのベストセラー作家、鈴木光司氏をお招きし「自分発見! 講演会」と題した講演会が行われた。講演に立った鈴木氏は、「なぜ勉強するのか?」をテーマに自身の経験から学生たちに語りかけ、「大学生のときこそ本物の教養を身につけて欲しい。氷山の一角ではなく水面下まで見られるような人間になってほしい。」との力強いメッセージを送った。一方講演を聞いた学生からは、「勉強する理由をこれだけ明確におもしろく聞いたのは初めてだった。」「自分の人生を自分で作っていくことの素晴らしさを学んだ。これからも色々なことに自ら進んで飛び込んでいきたい。」といった声

が聞かれた。この講演をきっかけとして現状から一歩前に踏み出すことができた学生も多数いたようだ。



キャリア入門Bーキャリアを考えよう!

9月から11月にかけて「キャリア入門Bーキャリアを考えよう!」が学部との共催で実施された。各界で活躍する本学の卒業生や、外務省、商社、銀行などから講師を招き、学部の特徴を活かした講演が行われた。各講座とも会場には多数の学生が集まり、熱心にメモを取る姿が見られた。



働く現場見学ツアー

11月25日と12月2日の2日間「働く現場見学ツアー」が行われた。この企画は、各界で活躍する先輩の働く現場を見学し、社会人としての働きがい、生きがいを学ぶこと

で、自己のキャリア形成の一助にすることを目的としている。今年度は銀行、航空会社など計6社にそれぞれ約30名の学生が訪れた。

学内会社説明会

キャリア支援室では毎年、企業を招いて学内会社説明会を開催している。これは南山大学生のみを対象に企業が本学を訪れ会社説明会を行うもので、普段学生生活を送っている大学内で実施される安心感、そして一度に複数の企業の説明を聞ける便利さが大きなメリットとなっている。例年、学内会社説明会をきっかけに本格的な就職活動をスタートする学生も多い。ぜひこの機会を積極的に活用し、より満足のいく進路選択に結び付けてもらいたい。



学内会社説明会開催日程

名古屋キャンパス	[1期] 2010年1月6日(水)~7日(木)
	[2期] 2010年2月2日(火)~3日(水)
	[3期] 2010年2月16日(火)~17日(水)
瀬戸キャンパス(情報系)	2010年2月1日(月)~3日(水)